

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市山手町16番38号
児童数:199名 学級数:11学級
校長 嶋山 正彦

1 テーマ

チャレンジ山手っ子

～自分のよさや可能性を認識し、豊かな人生を切り拓く児童の育成を目指して～

2 実践内容

(1)学校の魅力向上

①主権者教育



佐世保市議会事務局、および選挙管理委員会から講師を招聘し、講話を開催。

②プログラミング教育



ドローンを飛ばすプログラミング学習。九州文化学園との連携を図り開催。

③東翔高校ブラスバンドコンサート



東翔高校の協力を得て情操教育の一環として開催。

④長崎県立大学での講義



県立大にて異文化コミュニケーションを専門とする教授の講義を受講。

⑤いのちについて考えるセミナー、思春期講演会



産婦人科の助産師及び臨床心理士を招聘し、生命尊重等にかかる講義を実施。

⑥保幼小連携



近隣の幼稚園、保育所の園児との交流を計画的に開催。

⑦縦割り班活動



異学年集団によるレクリエーションや清掃活動を実施し交流を深める。

⑧研究発表会



学んだことを異学年（下級生）に発信。学習意欲の喚起と表現力の育成を図る。

(2) 地域及び関係機関との連携・協働

①学校支援会議



年2回実施。学校評価後の改善策の検討等を通じ育成すべき資質・能力を共有。

②安全登校見守り



各地域の方の見守りにより児童の登下校時の安全を確保。

③感謝を伝えよう集会



子どもたちの安全を見守ってくださっている地域の皆さんとふれあい、日頃の感謝の気持ちを伝える集会を開催。

④親子クリーンアップ大作戦



多くの保護者、子どもたちの協力を得て週休日に実施。教育環境の美化、維持、整備に対する意識を高める機会とした。

(3) 学ぶ力の育成

①ICT 利活用の推進



ICT 機器の日常的な活用が実現。児童の操作スキルも飛躍的に向上した。

②RS 読解力の育成



校内研修テーマに導入し、リーディングスキルの向上を目指した。

③授業改善研修



新しい時代に求められる授業の実現を目指し、校内研修の充実を図る。

④施設・事業所見学



各学年とも積極的に外部教育資源を活用し、効果的な学びを実現。

(4) 豊かな心の育成

①いのちと向き合う栽培活動



学年に応じて花や野菜を大切に育てる活動を推進。本市土木部との連携によりさせば美化プロジェクトにも参画。

②読書活動の推進



読書ボランティアにより図書環境の整備や読み聞かせが充実。端末を活用した読書活動も推進することができた。

③平和学習



佐世保空襲、長崎原爆等、被爆地に赴き、様々な視点から平和へのアプローチについて追求した。

④人権教育



人権意識を向上させることをねらい、人権週間に合わせて実施。様々な立場の人々へ思いを馳せる機会となった。

◎おわりに

先日、次期教育振興基本計画について、中教審答申が出されたところであるが、この中で、総括的な基本方針として「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられた。今後、学校の自己肯定感、学校のレジリエンスを高めながら、子どものウェルビーイング、また、教師の、さらには家庭や地域のウェルビーイングを高めていくことが求められる。そのような中、本事業は「幸福感」「学校や地域でのつながり」「協働性」「多様性の理解」「社会貢献意識」「自己肯定感」「自己実現」「心身の健康」「安全・安心な環境」といった要素の実現に大きく寄与するものであるとあらためて実感する。令和5年度も本事業の助力を仰ぎながら、本校の魅力向上に邁進する所存である。